

令和5年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

概要	名称	公益財団法人宮崎県立芸術劇場		所在地	宮崎市船塚3丁目210番地		
	電話番号	0985-28-3216		ホームページ	http://www.miyazaki-ac.jp		
	設立年月日	1993年4月1日	代表者	理事長 佐藤 寿美	県所管部・課	総合政策部 みやざき文化振興課	
	総出資額	225,797 千円		県出資額	225,797 千円	県出資比率	100.0%
	設立目的	県立芸術劇場を拠点として芸術文化等多様な文化活動を総合的に促進し、文化の香り高い地域づくりと、心豊かな県民生活の創造に寄与することを目的とする。					
	特記事項	県立芸術劇場の指定管理者として指定を受けている。 (指定期間：平成18～22年度、23～27年度、28～令和2年度、3～7年度)					

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
改革工程	①公社等のあり方見直し	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等) (実績) 公益目的事業比率 92.1%	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等) (実績) 公益目的事業比率 91.1%	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等)
	②公社等の経営見直し			
	経営・事業運営改善	(計画) 指定管理業務評価等を踏まえた事業内容の見直し、文化事業基金の有効活用の検討 (実績) 指定管理業務評価や利用者満足度調査等の結果を踏まえて策定した事業計画について、外部委員による「文化事業協議会」において審議した上で、23事業を実施した。	(計画) 文化事業基金の有効活用や新たな収入確保策を検討し、文化事業等のさらなる充実 (実績) 指定管理業務評価や利用者満足度調査等の結果を踏まえて策定した事業計画について、外部委員による「文化事業協議会」において審議した上で、27事業を実施した。	(計画) 文化事業基金の有効活用や新たな収入確保策を検討し、文化事業等のさらなる充実
	財務改善	(計画) 自主財源の拡充、貸館稼働率の向上 (実績) 宮崎国際音楽祭協賛金 27,779千円 貸館稼働率 62.1%	(計画) 自主財源の拡充、貸館稼働率の向上 (実績) 宮崎国際音楽祭協賛金 27,579千円 貸館稼働率 60.5%	(計画) 自主財源の拡充、貸館稼働率の向上
	組織等適正化	(計画) 職員の企画力の向上とともにサービス改善策提案を実施。 (実績) 職場内研修のほか、県外の研修も一部を除いて参加した。また、県公立文化施設協議会主催の外部講師によるインボイスの研修に参加した。	(計画) 職員の企画力の向上とともにサービス改善策提案を実施。 (実績) 職場内研修では、消防訓練のほか外部講師を招き不審者対応訓練、救命処置訓練及びインボイス研修を実施した。	(計画) 職員の企画力の向上とともにサービス改善策提案を実施。
	③県と公社等の関係見直し			
	人的支援見直し	(目標) 県派遣職員の必要性の検討 (実績) 県派遣職員が1名となっている。	(目標) 県派遣職員の必要性の検討 (実績) 県派遣職員が1名となっている。	(目標) 県派遣職員の必要性の検討
財政支出見直し	(計画) 第3期指定管理(H28～R2)の状況等を踏まえた財政支援の検討、実施 (実績) 文化庁や地域創造の助成事業のほか、企業からの協賛金支援など多様な財源の確保を図った。 (助成総額 65,846千円)	(計画) 自主財源拡充等により財務基盤強化を図る。 (実績) 文化庁や地域創造の助成事業のほか、企業からの協賛金支援など多様な財源の確保を図った。 (助成総額 54,426千円)	(計画) 自主財源拡充等による財務基盤強化や県委託事業の内容検討	
④情報公開推進	(計画) ホームページでの情報公開の充実 (実績) ホームページのほかフェイスブック、メールマガジンを活用し、公演情報等を積極的に発信した。	(計画) ホームページでの情報公開の充実 (実績) ホームページのほかフェイスブック、メールマガジンを活用し、公演情報等を積極的に発信した。	(計画) ホームページでの情報公開の充実	

	(人)	令和4年度				令和5年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	9	0	2	7	9	0	2	7
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	8	0	1	7	8	0	1	7
	職員数	28	1	1	26	27	1	1	25
財政支出等	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	県委託料	510,317	532,737	515,342	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	5,365	5,362	5,471	
	その他の県からの支援等								
主な県財政支出の内容	事業名	事業内容			令和4年度 決算額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	種別		
	① 県立芸術劇場管理運営事業	県立芸術劇場の維持管理			340,259	331,619	指定管理料		
	② 宮崎国際音楽祭開催・準備事業	宮崎国際音楽祭の開催業務及び次年度の開催準備業務			94,308	86,075	指定管理料		
	③ 県立芸術劇場大規模改修事業	県立芸術劇場施設設備の修繕業務			30,008	0	委託料		
	④ 県民文化振興事業	県民文化振興に係る県立芸術劇場主催事業等の実施業務			44,167	44,167	指定管理料		
	⑤								

実施事業	① 県立芸術劇場管理運営事業(大規模改修事業を含む)						
	② 宮崎国際音楽祭開催・準備事業						
活動指標	③ 県民文化振興事業						
	④ 友の会事業						
	⑤ ホール等貸出事業						
活動指標	指標名	算式(単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 劇場稼働率	稼働日数/利用可能日数×100(%)	77.0	60.5	78.6%	77.0	77.0
	② 主催公演の入場者率	入場者数/キャパシティ×100(%)	70.0	68.7	98.1%	70.0	70.0
	③ 友の会会員数	人数(人)	1,500	1,343	89.5%	1,500	1,500
指標の設定に関する留意事項							

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
財務状況	経常収益	614,873	721,189	740,394	資産	591,151	564,454	541,377
	経常費用	580,207	736,289	786,377	流動資産	344,299	320,079	308,894
	当期経常増減額	34,666	-15,100	-45,984	固定資産	246,853	244,375	232,483
	経常外収益	0	0	0	負債	106,730	95,482	132,176
	経常外費用	0	350	0	流動負債	100,528	91,409	126,207
	当期経常外増減額	0	-350	0	固定負債	6,202	4,074	5,968
	当期一般正味財産増減額	34,666	-15,450	-45,984	正味財産	484,421	468,971	409,201
	一般正味財産期首残高	210,123	244,788	229,338	指定正味財産	239,633	239,633	225,847
	一般正味財産期末残高	244,789	229,338	183,354	(うち基本財産への充当額)	30,000	30,000	30,000
	当期指定正味財産増減額	50	0	-13,786	(うち特定資産への充当額)	209,633	209,633	195,847
	指定正味財産期首残高	239,583	239,633	239,633	一般正味財産	244,788	229,338	183,354
	指定正味財産期末残高	239,633	239,633	225,847	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	正味財産期末残高	484,422	468,971	409,201	(うち特定資産への充当額)	0	0	0

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式 (単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
			目標値	実績値※	達成度 (%)	目標値	目標値	
①	管理費比率	管理費/経常費用×100 (%)	51.0	56.7	88.8%	51.0	51.0	
	※ 令和4年度 実績値の算式	445,671千円/786,377千円×100						
②	入場料収入比率	入場料収入/総事業費×100 (%)	36.0	33.3	92.5%	36.0	36.0	
	※ 令和4年度 実績値の算式	46,562千円/139,997千円×100						
③								
	※ 令和4年度 実績値の算式							
指標の設定に関する留意事項								

直近の県監査の状況	令和4年度定期監査（令和4年12月15日から令和5年3月9日）において指摘事項はなかった。
-----------	---

総合評価	<p>公社等自己評価</p> <p>第四期指定管理期間の目標の一つとして掲げている「より親しみやすく」「裾野を広げる」を重点課題として取り組んだ。令和4年度も、徹底した感染防止対策のもと劇場運営、事業運営を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に感染状況が厳しかった上半期においては、施設利用のキャンセルもあり、施設稼働率は目標を達成することができなかった。</p> <p>自主事業においては事業の中止等はなかったものの、前年度同様客席数を制限し、下半期に向けて徐々に制限を緩和していったが、新型コロナウイルス感染症への不安からチケットの買い控えもみられ、その結果、入場率、入場料比率ともに、目標を達成できなかった。しかし、入場者数としては回復傾向であるため、引き続き、公共性の確保と県民が親しみをもてる劇場作りを目指すとともに、各関係機関等と連携し、質の高い舞台芸術等を企画・実施していきたい。</p> <p>なお、組織運営については、プロパー職員を中心に、長期的な法人運営を見据えた人材育成に取り組むなど、組織体制の充実強化を図っている。</p>	<p>県所管部課二次評価</p> <p>令和4年度は徹底した感染防止対策を実施しつつ事業運営を行い、計画していた自主事業は全て実施することができた。活動内容については、いずれの項目も目標値には届かなかったものの、令和3年度と比較すると全体的に目標値に近づいており、コロナ禍にあっても文化芸術に親しみたいという県民のニーズに対応して、舞台芸術等を提供することができたものと認められる。</p> <p>財務内容については、自主事業における公演を全て予定通り実施したことから入場者数も増加し、いずれの指標も目標値に近づいたものの、達成はできていない。コロナ禍を考慮するとやむを得ない面はあるが、収支バランスを保ちながら公益性の高い事業を実施していく必要がある。</p> <p>組織運営については、理事会や監査等の機能が適性に発揮されるとともに、職員の能力開発も計画的に行われている。</p>
	<p>評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)</p> <p>改革工程 A</p> <p>活動内容 B</p> <p>財務内容 B</p> <p>組織運営 A</p>	<p>評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)</p> <p>改革工程 A</p> <p>活動内容 B</p> <p>財務内容 B</p> <p>組織運営 A</p>
	<p>目標達成度</p>	<p>公社等改革推進委員会三次評価</p> <p>活動内容については、指標の目標値を下回っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用制限を余儀なくされる中、県民ニーズに対応した事業実施を行ったことについて評価できる。</p> <p>財務内容についても、新型コロナウイルスや燃料費の高騰の影響もあり目標を達成出来ていないものの、前年度と比較して入場料収入は増加しており、回復傾向が見られる。</p> <p>今後は、改修工事による劇場の休館の影響も見込まれるが、指定管理者としての管理業務を適切に実施するとともに、採算性の確保を図り、また、県民のニーズ等を的確に捉えて、さらに充実した芸術文化を提供することが求められる。</p>